

ありがとう  
ございました

# 寄付

野口伏美様 吉岡和之様 村上一平様 山本久代様  
 清水淳子様 鈴木洋子様 太田智様 匿名様  
 新井神社様 小林ヒサ子様 宮川マリア様  
 日本鏡餅組合様 餃子の雪松様 有限会社五樹様  
 静岡日販会事務局様 ほっともっと様  
 毎日新聞東京社会事業団様  
 フジ日本精糖株式会社様  
 有限会社エイ・アンド・エイ様  
 パナソニック環境エンジニアリング様  
 全国シャンメリー協同組合様  
 公益社団法人 JEO・子どもに均等な機会を様  
 有限会社阿南ボーリング様  
 伊豆今浜湾東急ホテル様  
 masaakis&toshiakis 様 田村総業株式会社様  
 サンタプロジェクト代表 西塚良恵様



# 編集後記

学園だより冬号をお読みいただきありがとうございます。

まだまだ寒い日が続いておりますが、子どもたちは元気に過ごしています。子どもの手袋を洗いながら、「早く暖かくなれないかな〜」と呟いていますが、ついこの間までは、「早く涼しくなれないかな〜」と呟いていたような気がします…時間が過ぎるのが本当に早いものですね。

(保育士 綿貫こころ)

連絡事項	
身長	cm
体重	kg

ありがとう  
ございました

# 交流

カットボランティア 野口伏美様  
伊石裕司様

ものづくり 菱田夫妻様

プロレス TAKAみちのく様  
JUST TAP OUTの皆様  
山近義幸様



# お知らせ

## 帰省期間

2月10日～2月13日

3月18日～4月3日 (予定)

- ・入学式や始業式の日程は、分かり次第、職員よりお伝えさせていただきます。
- ・帰省については児童相談所の許可のもと、各御家庭へ連絡しておりますので、宜しくお願ひ致します。尚、予定されている帰省期間は、新型コロナウイルスの状況に応じて変更する可能性があります。ご承知のほどお願ひ申し上げます。



令和3年度

# 学園だより 冬号 第562号

編集・発行

川奈臨海学園

〒414-0044 伊東市川奈 509-7

TEL 0557-45-0509 FAX 0557-45-5169

E-mail rinkai-g@ninus.ocn.ne.jp

URL https://www.saiseikai-kawana.jp/



# 謹んで初春のお慶びを申し上げます

施設長 竹居昭子



令和4年、皆様にとってどのような年となりますでしょうか。今年の干支は、壬寅(みずのえ・とら)です。干支でいう意味として「新しく立ち上がること」「生まれたものが成長すること」と言えるそうです。川奈臨海学園は令和3年4月に新しい施設が完成し、5月から子どもたちも新しいユニットで生活しています。今年の干支に相応しく、ユニットでの生活をもっと充実させ、職員、子どもたちとともに成長の年としたいです。

お正月私は、自宅近くの葛見(くずみ)神社へ初詣に行きました。また1年一生懸命「生きる」ことを神様にお伝えしてきました。境内には国指定天然記念物となっている大楠があり、樹齢千年と言われ、目通り16mの大木です。何事にも動じないようなどっしりとし

ていました。見上げた大楠からは「見守っていますよ」と言わんばかりのパワーを感じました。大楠からパワーをもらい、昨年を振り返り、新たな年を迎え、目標を立て、自分自身を考え、力不足な面もあることを認識しつつ、前向きに進むことを心の中で唱えてきました。

川奈臨海学園の充実は、子どもたちが元気であることです。子どもたちは、とても優しいです。学校帰りには私が仕事をしていると窓を叩き、声をかけてくれます。私は子どもたちが好きです。子どもの笑顔が大好きです。笑顔は人を元気にさせます。子どもたちのことを認めて、受け止めて、笑顔あふれる川奈臨海学園となりますよう、今年も職員とともに努力します。

皆様のご多幸と素晴らしい1年となりますようお祈り申し上げます。今年もよろしくお願ひします。



# 女子フロア

聖なる夜 12月25日、川奈臨海学園にてクリスマスパーティーが開催されました。

今年度は新しい施設になって初めてのクリスマス会であり、各ユニットごとで様々な装飾を施し、各ユニットごとで食べたい料理でメニューを組みクリスマスパーティーを行いました。感染症対策のため黙食の徹底をお行い盛り上がったパーティーとはいきませんでした。職員が腕を振った豪華な料理を皆で楽しく食べました。

今年も伊豆今井浜東急ホテル様がケーキを用意して下さい、豪華なクリスマスケーキを子ども、職員ともに

美味しく頂きました。他にもタムラ総業様、サンタプロジェクトの方々、退園生の方からシャンメリーやお菓子やジュース、手袋など沢山のプレゼントを頂き、鈴木洋子さんからは図書券を頂きました。サンタさんからのクリスマスプレゼントも枕元に届き例年とは違う形でのクリスマスとなり子どもたちも嬉しそうにプレゼントを開ける姿や「サンタの姿を見た」という子もいて、とても楽しいクリスマスとなりました。来年はコロナも落ち着き盛大なクリスマス会が行えることを期待しています。

(児童指導員 寺川信晴)



# 1階フロア

今年は4名の児童が七五三を迎えました。当日以前から衣装を決める段階で、皆テンションがいつもよりも高く、前日も事あるごとに「明日は七五三！」と明るい声が響いていました。

前日は雨だったのですが、当日には雨も上がり、朝4名全員の気分が晴れ晴れしていました。朝ごはんを食べ終わると、「まだ七五三やらないの？」とソワソワし出し、興奮が収まりません。暫くすると、着物の準備ができ、着替えを始めました。しかし、着替えが終わると一変、1番年下のH君を除き、笑顔が減っていきました。

普段着ることのない晴着をまとい、緊張していたのです。着替え後のメイク中も、写真撮影をしている最中も、職員に「かわいい」と褒められている時も、表情が緩む事は少なかったです。ただ、外に出て近所の方にご挨拶する頃には、緊張がほぐれ、お参りをする際には表情が豊かになっていました。午後のおやつでは千歳飴を食べることができ、子どもの笑顔が職員にまで広がっていきました。この笑顔が絶えず、長寿で幸せな人生を歩んでいけることを願っています。

(保育士 長橋洸太)



(2)

# 男子フロア

12月4日、2つある男子ユニット合同で外出をしました。コロナ禍で外に出られない日々でしたので、今回は思い切り発散してもらおう！と思い、1日身体を動かせるような計画を立てました。午前中はマリンヒルズというペンションに設備されている、フットサル・テニスの兼用のコートをお借りしました。現地に着くとすぐにボールを蹴り始める子や、ネットを設置してテニスを始める子もいて、普段外出が出来ない分全力で楽しんでいるようでした。午後は奥野ダムに行きました。マクドナルドで購入した昼食を食べ、活動開始！ボール蹴りやフリ

スビー等をした後、みんなで石を拾って水切りをしました。ある子は水切りがとても上手で、水の上を10回以上も跳ねることができ、他の子から「プロ！」と呼ばれ、得意げな表情を浮かべていたのがとても印象的でした。最後に、奥野ダムの外周をウォーキングしようと職員から誘うと、普段あまり身体を動かすことをしないような子が「俺も行く」と言い、五キロメートル弱のコースを歩き切りました。

帰ってきた子どもたちは全力で遊んでクタクタになりながらもとても満足そうな表情をしていました。コロナが終息し、さらに沢山の外出ができるようになることを願います。

(児童指導員 青木雄佑)



# わかな

わかなでは、子どもたちみんなでジャンプをして年を越しました。朝は、職員が手づくりしたおせちとお雑煮を食べました。“数の子”は塩抜きがされていないものを購入していたようで塩抜きせず出してしまう“しょっぱかった”と言われてしまいました。来年はしっかり確認したいと反省したお正月となりました。

元旦の朝、子どもたちはわかなの近くにある鎌田(かまた)神社へ初詣に行きました。おみくじも引いたようで“大吉”を引いたと教えてくれた子もいました。今年も良いことたくさんあるといいなと子どもたちの幸せを願います。

各自頂いたお年玉でお買い物に行き、欲しかった漫画や食べたかったお菓子などを購入していました。夜は海岸沿いで花火があがっていたので、わかなから子どもたちと一緒に見ました。花火の上の部分しか見えなかったのですがとても綺麗で「少しだけ見れてよかった。」と満足そうな表情をしていました。

お正月はわかなの子どもたちとのんびり過ごすことができました。今年はどうなるのか楽しみです。

(児童指導員 上村 紗矢)



(3)